

規制改革推進会議
投資等ワーキング・グループ
2017. 3. 13

株式会社メドレー

代表取締役医師 豊田剛一郎



- 会社紹介
- 遠隔診療概要
- 事例紹介
- 課題と今後の展望

- 会社紹介
- 遠隔診療概要
- 事例紹介
- 課題と今後の展望

株式会社メドレー Medley Inc.

設立:2009年6月5日 従業員:135名(2017年2月末)

代表者: 代表取締役社長 瀧口 浩平 代表取締役医師 豊田 剛一郎

代表取締役医師 豊田 剛一郎

1984年生まれ。医師・米国医師。

東京大学医学部卒業後、脳神経外科医として勤務。

その後マッキンゼー・アンド・カンパニーにて主にヘルスケア業界の戦略コンサルティングに従事。

2015年2月より株式会社メドレーの代表取締役医師に就任。

オンライン病気事典「MEDLEY」、オンライン診療アプリ「CLINICS」など医療分野サービスの立ち上げを行う。





医療の課題

- 医療費の増大
- 高額医薬品
- 情報の非対称性
- 現場の過重労働
- 非効率なシステム
- 皆保険制度の限界

メドレーの取り組み

医療リテラシーの向上

診療プロセスの効率化

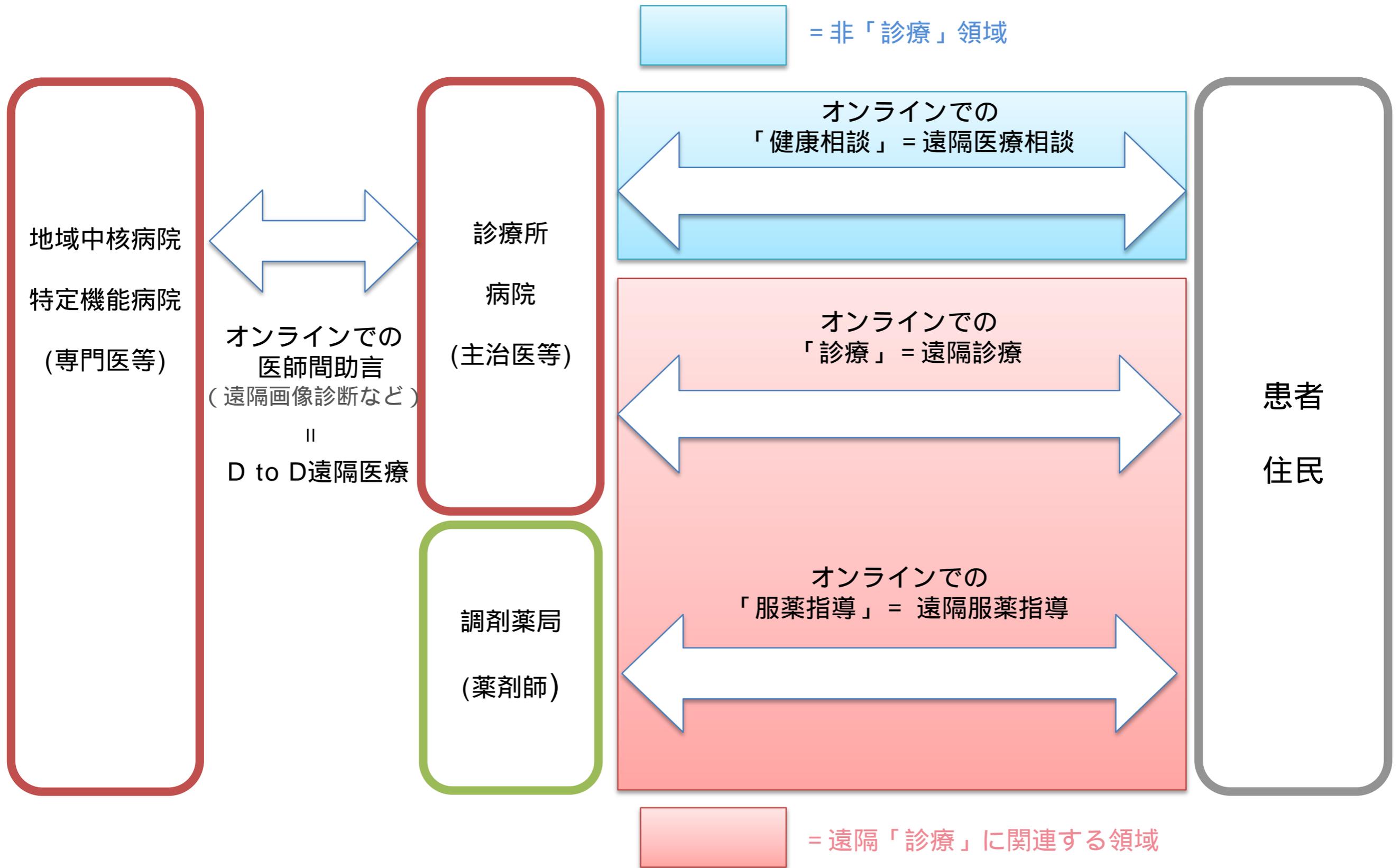
人材不足の解消

情報の透明化

- 会社紹介
- 遠隔診療概要
- 事例紹介
- 課題と今後の展望



遠隔医療における遠隔診療の位置付け



遠隔診療をめぐる変化

これまで

へき地や離島が前提

平成9年通達

遠隔診療はあくまでも対面診療を補完するものとして行うべき

遠隔診療を行う場合の例として、へき地や離島が考えられる

通信機器の普及不足

症状に対する治療

現在

全ての医療が必要な人

平成27年通達

直接の対面診療を事前に行うことが必ずしも遠隔診療の前提条件とはならない

遠隔診療の対象を、離島やへき地の患者に限る必要はない

スマートフォンなどの身近な機器の普及

予防医療推進の重要性の増大

オンライン診療アプリ「CLINICS」



遠隔診療を支援するオンライン診療アプリ

インターネットを通じて、診察予約・問診、ビデオ診察、決済や薬・処方せんの配送までをワンストップで提供

1

診察予約・問診

2

ビデオ診察

3

クレジットカード決済

4

薬・処方せんの配送



全国で250以上の医療機関がオンライン診療を導入

北海道から沖縄まで幅広い診療科で導入

2017年2月時点での契約医療機関数**250以上**

遠隔診療サービスの導入数国内**No.1**

(シード・プランニング社調べ)





オンライン診療の対象になっている主な疾患群

内科系疾患

| | |
|-----------------|---|
| 循環器内科 | 高血圧 慢性心不全 |
| 消化器内科 | 逆流性食道炎 慢性胃炎 過敏性腸症候群 便秘症 自己免疫性疾患(UC/Crohn病) |
| 呼吸器内科 | COPD 気管支喘息 睡眠時無呼吸症候群(SAS) ニコチン依存症 |
| 神経内科 | 認知症(アルツハイマー病など) てんかん 片頭痛 |
| 代謝・内分泌内科 | 糖尿病 脂質異常症 高尿酸血症 肥満症 甲状腺機能亢進/低下症 |
| アレルギー リウマチ内科 | アレルギー性鼻炎(花粉症含む) 関節リウマチ(RA) 全身性エリテマトーデス(SLE) シェーグレン症候群(SjS) |

その他の診療科

| | |
|------|--|
| 皮膚科 | アトピー性皮膚炎 蕁麻疹 白癬 口唇ヘルペス 褥瘡 男性型脱毛症(AGA) |
| 泌尿器科 | 過活動膀胱 前立腺肥大 勃起不全(ED) |
| 整形外科 | 骨粗鬆症 変形性膝・股関節症 |
| 精神科 | アルコール依存症 うつ病 双極性障害 不眠症 適応障害 アルコール依存症 |
| 婦人科 | ピルの処方 |
| 小児科 | 喘息 重症心身障害 発達障害 |

AGE牧田クリニック 糖尿病専門医



「
多くの方を人工透析に至
る前に助けたい
」

腎臓に合併症が出ているか否かは尿アルブミン検査で分かります。この検査で異常値が出ていても、自覚症状がなく放置してしまっている方は少なくありません。こうした方の受診ハードルを下げするためにも、遠隔診療は効果的であると考えています。

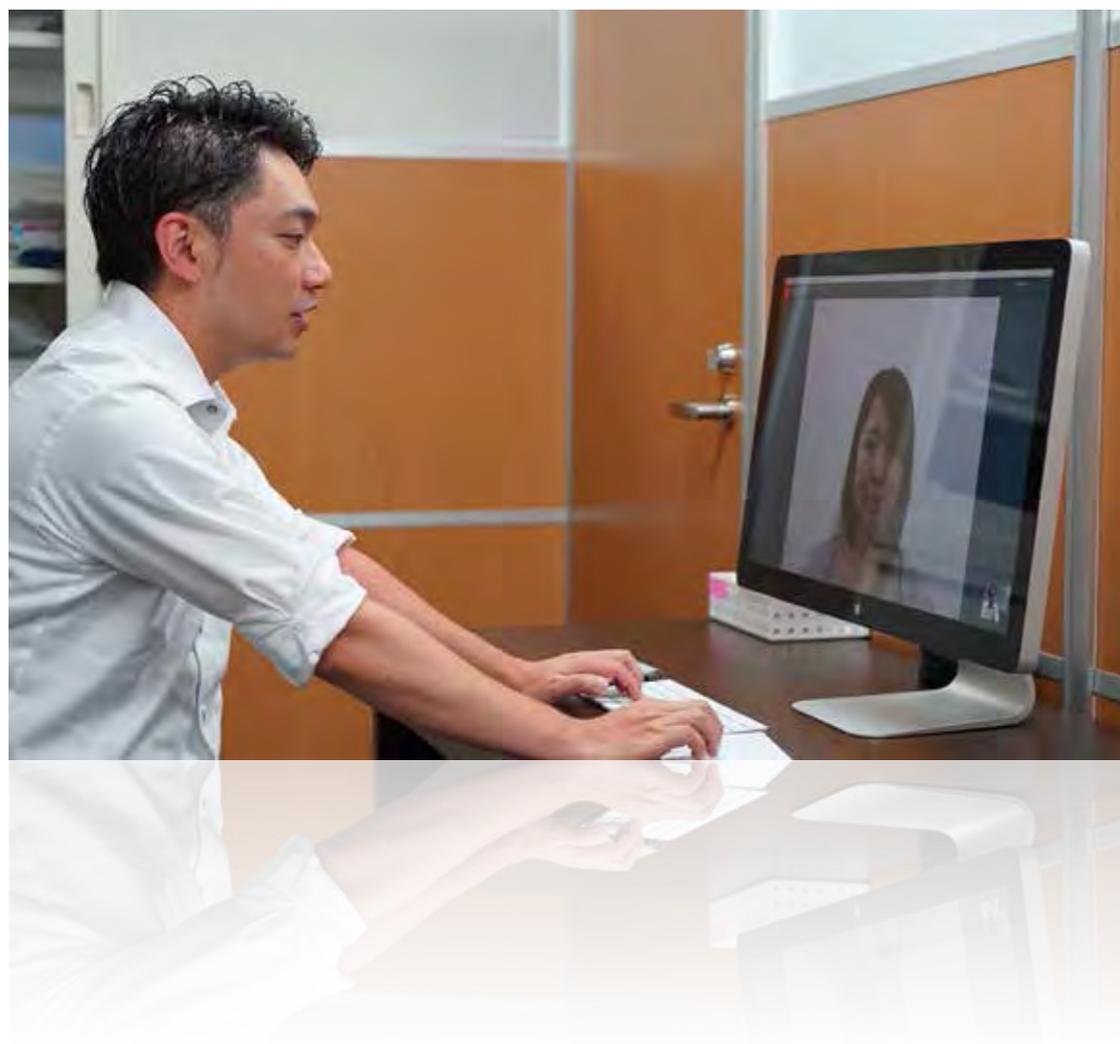
外房こどもクリニック 小児科医



「
小児医療過疎地域の
課題を解決したい
」

基礎疾患を有するなど様々な理由で通院困難である患者さんがいらっしゃいます。こうした患者さんのご負担は地域医療の課題であると考えていました。オンライン通院は通院困難な患者さんのご負担を軽減することができます。

新六本木クリニック 精神科医



「
病院に来る必要のある患者に声をかけられる
」

精神疾患では、多忙から継続的な通院が途絶えてしまったり、心理的ハードルから初回の診察をためらったりという理由から、症状が悪化してしまうケースが多くあります。オンラインを通じてこうした患者と繋がることで、早期治療や治療継続を促進したいと考えています。

- 会社紹介
- 遠隔診療概要
- **事例紹介**
- 課題と今後の展望